■ 指定管理者制度導入施設　年度評価シート ■

評価年度	令和7年度

1　基本情報

公の施設名	相模原市立環境情報センター
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	相模原市立環境情報センター条例
施設の設置目的	環境の保全及び創造に関する学習の推進並びに市民等が自主的に行う環境の保全及び創造に関する活動の促進を図る。
施設概要	開所日　　平成18年4月1日 所在地　　相模原市中央区富士見1－3－41 構　造　　鉄筋コンクリート造2階建て 敷地面積　2,393.29㎡（衛生研究所敷地含む） 延床面積　600㎡
施設所管課	環境経済局　環境部　ゼロカーボン推進課

2　管理実績

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者数合計（人）	12,395	15,660	16,805	15,411	11,880	11,097	
利用料金合計（円）	1,026,255	1,274,559	1,312,870	857,297	425,160	389,414	
貸館率（%）	70.0	72.0	58.9	60.0	25.0	27.0	

3　成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	目標達成度は112.6%であり、評価基準に基づき「S」評価とする。 事業参加者数は前年度より減少しているものの、アウトリーチ型事業を除く他の事業においては、新たな企業等との連携により新規企画を実施した結果、実施回数および参加者数が増加している。これにより、より深度のある学習事業の展開に注力されたことがうかがえる。 今後も、企業や団体などの多様な主体を巻き込んだ環境学習事業の実施を通じ、市民等への多角的なアプローチを継続し、さらなる環境学習機会の創出および環境意識の普及啓発に努められることを期待する。

指標1

指標名（単位）	事業開催に伴う参加人数（単位：人）
指標式と指標の説明	（環境学習事業の参加人数の実績値/目標値）×１００

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（単位）			2,850	2,900	2,950	3,000	3,050
実績値（単位）	332	1,238	2,518	3,330	3,732	3,377	
達成度（%）			88.4	114.8	126.5	112.6	

4　事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	・エコネットの輪事業については、小中学校へのプログラム仲介が増加しており、小中学校が実施する総合的な学習の時間のニーズに適切にマッチングさせることができていることがうかがえる。 ・環境学習事業に関しては、参加者数が減少しているものの、これまで連携のなかった新規の企業等との連携により新規企画を実施し、実施回数は増加している。これにより、より深度のある学習事業の展開に注力していると評価できる。 ・エコギャラリーの運営事業については、様々な主体との連携により昨年度より多くの企画展示を実施し、幅広い情報発信に努めている点が評価される。 ・備品等の貸出事業においては、貸出件数が増加しており、小学校などの環境学習等に資することができている。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自然環境観察員制度事業 環境学習セミナーの開催 （年２回以上）	通年	○開催回数5回、参加者89名 　多くのボランティアが参加し自然環境に対する関心を高めることができた。 （内訳） 【第1回】年度初め挨拶・紹介・活動説明、今年度全体テーマ説明、各部会交流会(自己紹介等)/37名 【第2回】PFAS講演会/14名 【第3回】河川生物調査、湧水環境調査の紹介と調査方法説明/11名 【第4回】講演会「気候変動が生物季節を変えている」/13名 【第5回】講演会「相模原台地の湧水、湧水環境調査と調査地の紹介」/14名	○
事業協力者登録制度「エコネットの輪」事業（年２０回以上仲介、紹介）	通年	○仲介、紹介数44回 ・登録団体数74件、登録プログラム70件（まちかど講座除く） ・プログラム集は9月に改訂発行 　市内小学校の校外実習としてエコパークさがみはら施設見学の利用が多くあった。その他、「さがみはら４R連絡会」「さがみはら地球温暖化対策協議会」「ここももの会」「賢治の実験室」「昆虫文化を子供たちに伝える会」等のプログラムを仲介・紹介した。	◎

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
環境学習事業（年３０回以上）	通年	○開催回数60回　参加者数3,377人 (内訳)カッコ内は前年実績 ・アウトリーチ事業　7回 2,023人（7回 2,473人） ・おもちゃもったいないセンター&おもちゃの病院12回　763人（12回 735人） ・環境学習講座　41回 591人（33回 524人） 　アウトリーチ型事業の実施により多くの親子、ご家族に参加いただき、エコパークさがみはらの認知向上が図れた。また、新規のイベント・講座を12回実施した。	◎
さがみはら環境まつり（年１回以上）	年１回	○開催回数1回　参加者数約2,500人 ・会場　サン・エールさがみはら ・出展団体数　37団体 　市内外から家族連れの方を中心に多くの参加があり、盛大に開催することができた。	○
こどもエコクラブ事業 市内交流会の開催（年２回以上）	11月、12月	○開催回数2回 ・第1回 11月30日「クリスマスリースづくり」（2チーム　5名参加） ・第2回 12月 6日「サステナブルなカスタネットづくり」(2チーム　4名参加) 開催により交流が図ることができた。	○
環境情報システム事業（年６０回以上、うち１２回を動画）	通年	○SNS発信187回 ・Facebook78回､Instagram101回、YouTube8回 （うち、動画27回（YouTube、Instagram）） ○ホームページアクセス数　累計44,259回 　実施した講座、セミナーの動画は過去のものも含めて徐々に視聴回数が増えている傾向にあり、環境学習の情報提供として、一端を担っている。また、インターンシップに参加した学生がエコパークさがみはらのPR動画を作成し、YouTubeで配信した。	○
エコギャラリーの運営事業（年６回以上）	通年	○企画展　18回 　相模原市内での活動団体の企画を中心に、地域活動への一環として環境保全啓発の展示を実施した。企業と連携したギャラリー展示と講座を組み合わせた企画も実施した。	◎
機関紙の作成事業（年４回以上）	年４回	○発行回数　4回 　子ども環境情報紙「エコチル」に掲載し、146,544部を発行した。エコパークさがみはらにおけるイベントの開催案内を年2回。夏休み環境学校参加募集案内及び相模原市の環境に貢献している会社紹介を1回ずつ掲載した。	○

専門相談・アドバイス事業	通年	○相談件数　28件 　相談の内容はゴミの処分方法など、多岐にわたっていた。うち、おもちゃセンターに関するお問い合わせが4件と多かった。（エコネットの輪、自然環境観察員制度の活動取り組みを除いた件数をカウント）	○
備品等の貸出事業	通年	○備品の貸出　1,741件、図書の貸出　62冊 　備品はWeb会議用機器の他、ソーラークッカー、発電自転車等イベントでの使用備品を中心に多く利用された。	◎
インターンシップ受入（年１回以上）	通年	○受入れ回数　3回 　6名の大学生を受け入れた。	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
障がい者雇用施設きこり商品販売	通年	障害者就労施設が製作する木工品や布製品などのエコ製品を販売した。	○
津久井産材商品販売	通年	木工品の販売を通して森林資源の有効活用や地産地消についての啓発した。	○
さがみはらSDGs推進自動販売機設置	通年	売上の一部が相模原市に寄付される自動販売機を設置し、地域貢献を図った。	○
使用済みペンのリサイクル回収ＢＯＸの設置	通年	（株）パイロットコーポレーションのリサイクルBOXを設置。来館者の増加とリサイクルの啓発への促しを図った。	○
ユニリーバ製空き容器のリサイクルボックス設置	通年	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング（株）のリサイクルBOXを設置。来館者の増加とリサイクルの啓発への促しを図った。	○
学習室を「自主学習スペース」として無料開放を実施	8月、12月、1月	クールシェアやウォームシェアを目的に、学習室を自主学習スペースとして数日間無料開放し、エコパークの認知度向上も図った。	○

5　利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	目標の達成度は110.1%であり、評価基準により「S」評価とする。 「満足」と「やや満足」が99.1%を占めており、満足度が高いサービスが継続的に提供できているものと評価できる。一方、「やや不満」との声もあることから、アンケートの意見分析や、日頃から利用者の声に耳を傾け、更なる満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施　サンプル件数:228件 （時期:令和7年10月1日～令和7年10月31日、令和8年3月1日～令和8年3月20日）
目標値の基準	利用満足度の設問「全般的な満足度」に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（%）	98.3	92.9	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	92.9	96.8	99.1	96.7	98.6	99.1	
達成度（%）	94.5	104.2	110.1	107.4	109.6	110.1	

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
講座参加者アンケートの実施	講座等イベント実施時	講座参加者に対するアンケートを実施。令和7年度の全講座における「とても満足」または「満足」と回答した割合は94.0%であった。
意見箱の設置	随時	施設内に意見箱を設置し、常時、施設運営全般に対してご意見をいただける体制を整えた。

6　施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	施設の収支は本体事業収支、全体収支ともに赤字となっており、受益者負担の見直しなど検討されたい。一方、団体本体の経営状況については特段の問題はない。

施設の収支概要　※直近3年間について記載　（千円）

項目		令和５年度	令和６年度	令和７年度
収入　（a）		26,587	25,991	25,962
	指定管理料	25,534	25,413	25,433
	利用料金収入	857	425	389
	その他の収入	196	153	140
支出　（b）		26,299	27,508	27,331
	人件費	18,230	19,267	19,518
	本社管理経費	2,866	2,866	2,866
	その他の支出	5,203	5,375	4,947
本体事業収支　【(a)-(b)】(c)		288	-1,517	-1,369
自主事業収入　（d）		66	62	58
自主事業支出　（e）		55	50	53
自主事業収支　【(d)-(e)】(f)		11	12	5
全体収支　【(c)+(f)】		299	-1,505	-1,364
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7　管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和８年３月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	

加点事由	具体的内容

8　ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	新着やイベント情報等について、速やかにわかりやすく公開している。

9　指定管理者の自己評価

・環境学習事業は前年度に比べ8回増やして開催し合計60回開催、新企画のイベント・講座も12回開催しました。「かんきょうフェア2025」、「さがみはら環境まつり」、また初参加の「中央公民館まつり」等外部イベントにも積極的に参加し、発電自転車体験で約2,000人余りに参加いただき、環境学習のきっかけ作りができました。
・「さがみはら環境まつり」は21回目の開催となりました。時折雨の中約2,500人にご参加いただき盛大に開催することができました。情報発信としてホームページ・SNSにも注力してまいりました。YouTube・リール動画は27件と昨年より8件増となりました。今後、インターンシップの学生にも、エコパークさがみはらのPR動画の作成に協力してもらいたいと考えております。またFacebook、Instagram、YouTubeのフォロワー数も順調に伸びております。【3月末フォロワー数Instagram：772件（前年540件）　Facebook：736件（前年688件）　YouTube 1,660件（前年1,542件）】。
・自然環境観察員の登録者数においては、前年度に比べ3人減となりました。調査活動やセミナー･部会･企画会議等は計画のとおり実施できました。
・エコギャラリーの展示は年間18回展示内容を変更して実施しました。今後は環境への取り組み企業と連携しギャラリー展示と講座を組み合わせた展開も行ってまいります。
・エコネットの輪の紹介事業をとおして、地域の学校からの問い合わせも多く、学校単位での施設内見学も授業の一端としての実施が増えています。
・今後は独自開催のイベントも開催しながら、より一層地域に愛される親しみやすい施設を目指して参ります。

10　所管課意見

・環境学習事業およびエコギャラリー運営事業では、これまで連携のなかった企業等との新たな連携のもとで新規企画を実施し、昨年度よりも数多くの幅広い事業展開ができたことは、高く評価できる。
・エコネットの輪事業においては、これまで中心となっていたエコパークさがみはら施設見学以外のプログラム仲介数も増加しており、幅広い主体との連携促進に努めることができている。
・自主事業に関しては、新たに「クールシェアルーム」「ウォームシェアルーム」の取り組みを企画し、施設利用の促進に努められた点は評価できるものの、さらなる利用促進を図るため、周知徹底やニーズに合った対応に一層注力されることが望まれる。
・貸室利用については、前年度から微増しているものの、更なる利用率向上のため、周知に努められたい。
・施設利用者数が昨年度と比較して減少していることから、引き続き積極的な新規企画の実施や自主事業の充実を通じて、利用者数の向上に取り組まれることを期待する。

11　選考委員会意見

・施設利用者数が減少しているが、利用者アンケートの結果は良好であるため、更なる施設の存在周知について努めていただきたい。
・こどもエコクラブの登録者増については大きな成果があったと考えられる。登録者の意見を聴取しつつ、更なる登録者増に繋げていただきたい。
・SNSの発信回数が減少しているため、発信頻度を増やし、未来を担う若い世代に向けた一層の情報発信に努められたい。
・エコネットの輪事業等を中心に小中学校との連携が増えていることは高く評価できる。今後も様々な事業を通じて小中学校へのPRに注力し、より幅広い連携を推進していただきたい。
・備品等の貸出事業については貸出件数が増加しており、環境学習等に資することができていることから、小中学校等での活用について更なる周知を行い、多くの子どもたちの学びに繋げていただきたい。

総合評価（自動判定）

A

（80/100）

